

県総体の連絡文書です。

必ず、確認しておいてください。

次ページ（表紙）以降の資料を、各学校で印刷し、

当日、ご持参ください。（受付で配布しません。）

（組合せについても各校で印刷をお願いします。）

前年度優勝校（男子：今治 S. O. C 女子：篠山）

準優勝校（男子：久米 女子：北伊予）は

優勝旗、準優勝カップを忘れずにご持参ください。

（出場していない学校については、専門部長まで届けていただき専門部長が
ご持参ください。）

令和7年度

第77回 愛媛県中学校総合体育大会

ソフトテニス競技



令和7年7月20・21・22日

松山中央公園

愛媛県中学校体育連盟

ソフトテニス専門部

運営について

1 競技規則について

現行の（公財）日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック」及び中体連県総体要項に準じる。（各校に配布している中体連県総体要項を熟読しておくこと。）

マッチはすべて7回ゲーム、ボールは白色公認球（**団体：ケンコー、男子個人：アカエム、女子個人：ダンロップ**）とする。

団体戦は、対戦校が初戦の場合に限り3対戦とも実施する。それ以外は2点先取とする。

（第3日の初戦も、2点先取とする。）

団体戦に2ペアで出場する場合は、1番2番に出場すること。（3番は不戦敗）受け付け時に申し出ること。その試合は2対戦とする。（第3対戦は行わない。）

2 服装について

上：半そでスポーツシャツ（襟なし可、各校の体操服は可、ゼッケンは付けること）

（袖をまくっての着用は行わない。）

下：ひざより上のパンツもしくはスカート

（後からのプリント等は認めない。※氏名の刺繍は可。）

靴：テニスシューズ

ゼッケン：規定のものを上着の背面の所定の位置にとめる。（必ず四隅を止めること）

アンダーウェア等について

※ 単色（黒・白・ベージュ）とする。メーカーのロゴ等は認めるが、華美でないものとする。こと。（ステッチ等が色違いも単色にはならない。）

※ サポーター、テーピングにおいても上記の通り単色（黒・白・ベージュ）とする。

※ 腕等へのペインティングは禁止とする。（県総体要項）

※ その他、医師より診断され、使用しないといけない物（サングラス等）がある選手については、医療器具使用届を提出すること。診断書の提出までは求めないが、必ず医師の診断があるものに限る。

3 ベンチについて

小さい番号を武道館側、大きい番号を重信川側とする。（応援エリア別紙参照）

4 ベンチ入りについて

団体戦：監督・コーチ（申込書記載者）のいずれか1名、及び選手。（登録8名以内）

個人戦 監督・コーチ（申込書記載者）のいずれか1名のみ

※ 監督・コーチの服装は、スポーツシャツ・テニスシューズを着用すること。

（長袖・長ズボン等でも可）

監督・コーチはID（各校で作成・中体連形式）を身に付けること。

※ 外部指導者がベンチ入りする場合は、当該校公印が押印された外部指導者証も身につけること。

また、監督（教員・部活動指導員）は、コート付近に必ず待機しておくこと。（団体戦の場合）
（個人戦で複数のペアが同時に試合を行っている場合は、そのベンチでよい。）

（外部指導者は ID と外部指導者証の両方が必要）

（外部指導者がベンチ入りする場合は、監督会議にて申し出ること。）

※ ベンチ入りしているコート以外の選手の指導をすることはできない。隣り合っている場合でも、選手は、隣のコートにいる監督のアドバイスを受けることができない。

5 マッチ中について

① マッチ中は連続的にプレーする（マッチの進行の支障となる状態でパートナー同士の打ち合わせをしたり、または休憩をしたりしてはいけない）。

流れを変えるために靴紐を結び直す等の行為は、遅延行為としてイエローカードの対象とする。

② プレーヤーはプレーの進行及び判定に関し、アンパイヤーに対して異議を申し立て、または結果を不服として故意にプレーを中断してはならない。（質問は可）

※ 「イン」「アウト」の判定についての質問（例「今のはアウト（イン）ではないですか」）は認めるが、ボールの痕跡を確認するのは、審判の判断によるものである。よって、審判が必要と認めた場合は確認するが、選手から「ボールの跡を確認してください」というような申し出は行えない。

6 大会運営について

① 1 日目個人戦（ベスト 8 まで）

2 日目団体戦（ベスト 8 まで）の後、個人戦（決勝・順位決定まで）

3 日目団体戦（決勝まで）を行う。

（順延の場合も、この順で行う。）

② 荒天時（警報等）については、中体連本部と協議し、日程を変更することもある。

7 施設の利用について

① 公共の施設であるから、大切に使うこと。（特にトイレ）

② 貴重品やカギの管理は、各自が行うこと。

③ 自転車は所定の場所に駐輪すること。（坊ちゃんスタジアムに乗り入れないこと）

④ 開場時間は 8 : 0 0 とする。

⑤ スタンドへのテントの設置は認めない。

⑥ 各チームのテント等の設置場所は、テニスコート東側（坊っちゃんスタジアム側、コート横の通路には設置しない）と北側（武道館側）とする。（別紙参照）

8 四国大会出場について

① 団体は 2 チーム。個人は 8 ペアに出場権を与える。

② 個人については、順位決定戦を行い 1 ～ 8 位の順位を確定する。（順位決定戦は組合わせにそって行う。）

③ 四国大会出場チームの代表者は、競技終了後、四国大会（全国大会）の申込の説明を行うので残

っておくこと。(個人出場チーム2日目、団体出場チーム3日目)

9 公式練習について

- ① 公式練習コート割(別表)に従って行う。

10 監督会議について

- ① 1・2日目8:50、3日目8:45より行う。(場所は当日連絡)
- ② 各チーム必ず監督もしくはコーチが出席すること。(1名以上)

11 審判について

- ② 団体戦の正審については、教員審判・一般審判において行う。(個人戦は、生徒役員)
- ② 各学校の監督の先生は、審判員になっています。ご協力をお願いします。
(審判割りについては、本部より連絡します。)

12 その他

- **クラブハウス2階については、生徒役員待機場所となっています。選手・保護者・応援生徒・部員選手の控え場所としては利用できません。**
- 運動広場・坊っちゃんスタジアム東駐車場は高校野球専用となっています。時間が来れば施錠されますので利用しないようお願いいたします。(保護者へも連絡ください。)
- 車からの乗り降り、荷物の積み下ろしを中央公園の道路内で行わないでください。必ず、駐車場に車を入れてそこで行ってください。タクシーであっても同様です。
- ※ 団体戦のベンチに各チームで長いす等(一人掛けのディレクターチェア一等は不可)を準備して座って待機(応援)することが望ましい。(熱中症対策)
- ※ 日傘の持ち込みを認める。
- ※ うちわの持ち込みは認めるが、応援の道具として(音を鳴らす等)の使用はできない。(あくまでも、うちわ本来の目的で使用すること)
- ※ 放送に関する同意を認めない生徒がいる場合は、所定の届を提出すること。
- ※ 選手変更届を提出する際は、身長・体重・位置の記入は必要ない。また、背番号の欄には組み合わせ番号を記入すること。

ベンチ・応援席について

1 ベンチについて

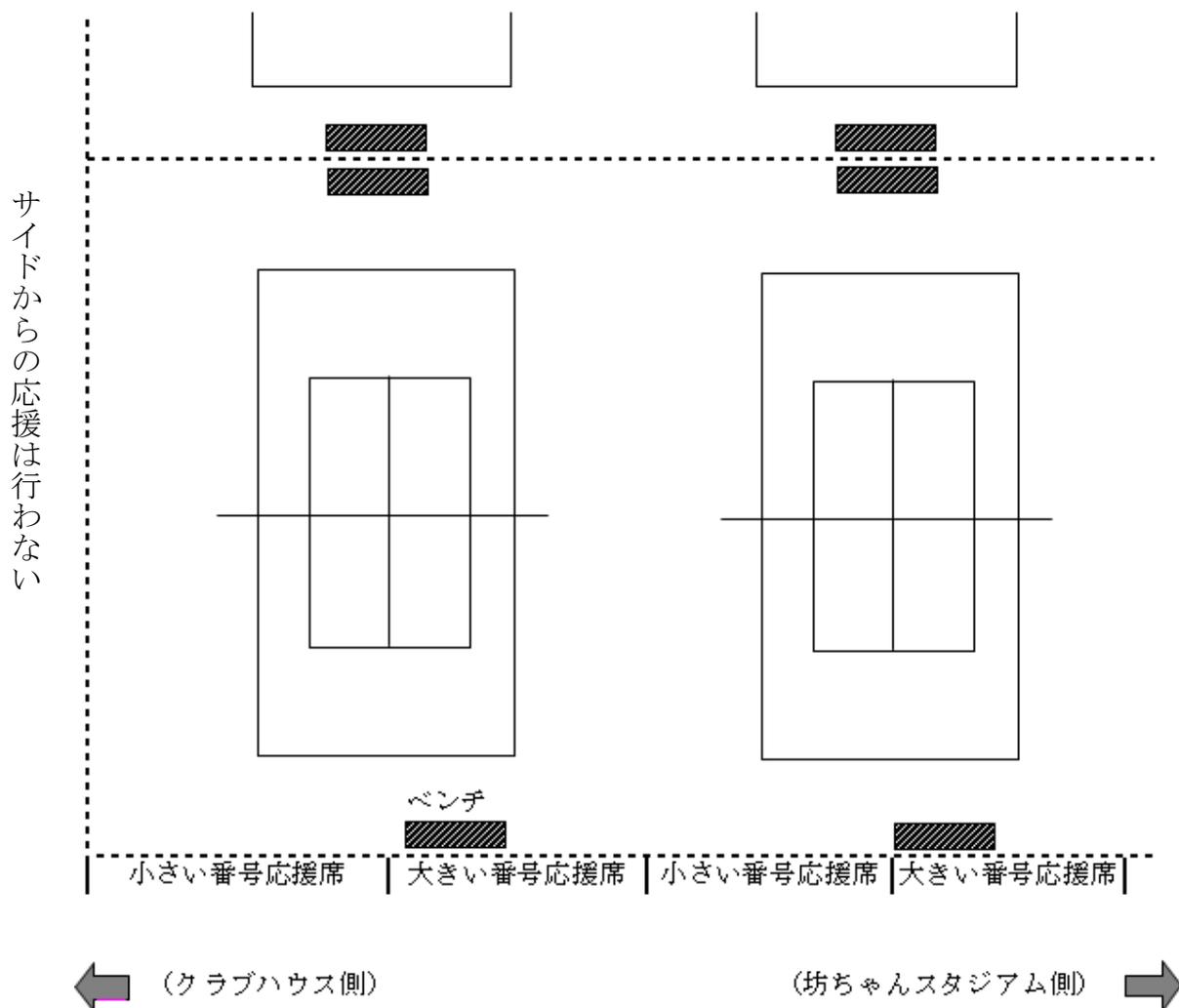
- 団体戦・個人戦ともに小さい番号を武道館側（北）、大きい番号を重信川側（南）とする。
- 武道館側通路、B・Cコートで中央通路、Dコートで重信川通路側のベンチのチームは、自分の応援席側にベンチを移動する（中央からずらす）ことを認める。

2 応援席について

① A・Dコートで試合をしている場合（応援に解放していない場合）

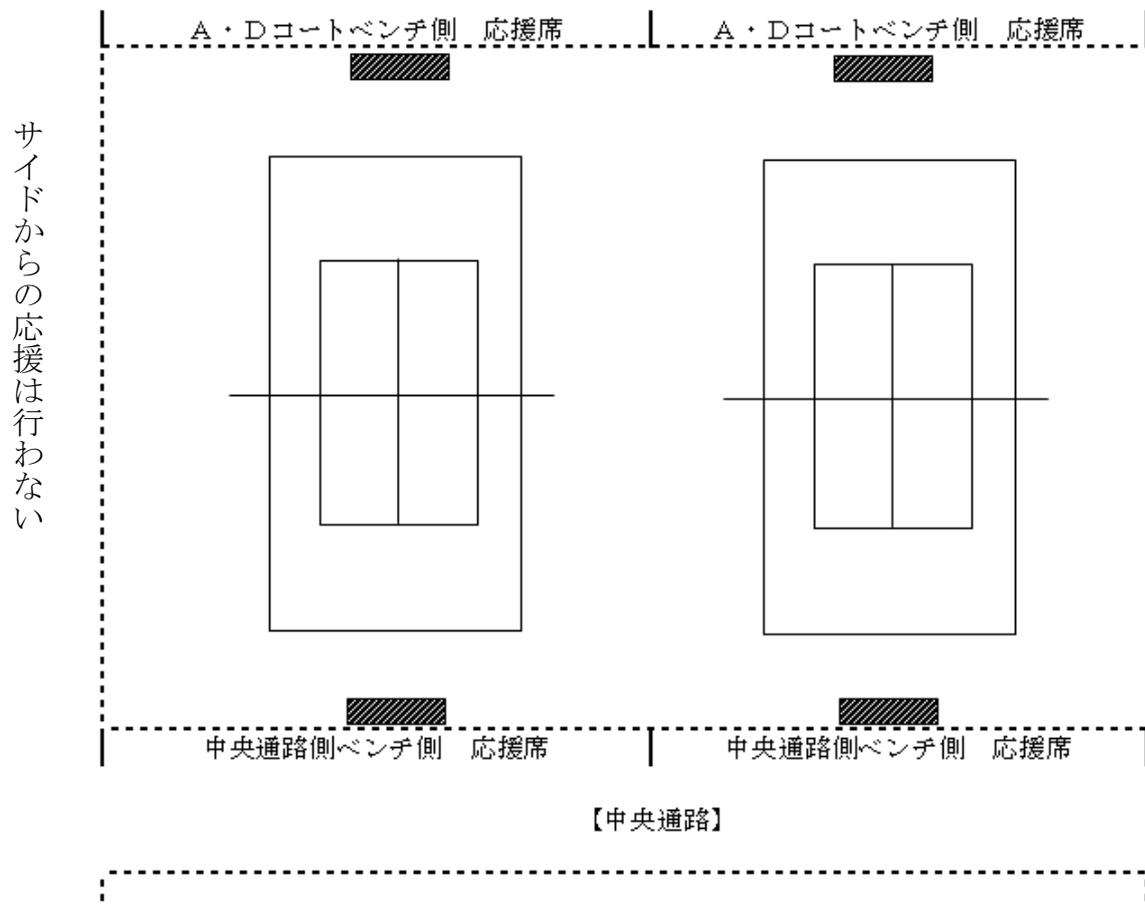
- Aコートは武道館側通路、B・Cコートは中央通路、Dコートは重信川通路を応援席とする。
- それぞれの応援席（通路）のコート中央を境に応援席を仕切る。

小さい番号の学校が西側（クラブハウス側）、
大きい番号の学校が東側（坊ちゃんスタジアム側）、



② A・Dコートに応援に解放している場合

- それぞれのベンチ側に応援する。



※ A・Dコートベンチ側の応援は、中央通路では行えない。必ずA・Dコート側で行うこととする。

※ その場合、ハイヒール等では入れないので、必ず運動に適した靴（テニスシューズが望ましい）を用意しておくこと

特に保護者に伝えておいて下さい。

試合前後のあいさつの方法

団体戦

試合開始時

- ① ベースラインに整列する。
- ② 「集合」でネット付近まで移動し、ネット付近で挨拶を行う。

試合前の円陣を組む場合は、同時に行う。

試合終了時

- ① ベースラインに整列する。
- ② 「集合」でネット付近まで移動し、ネット付近で挨拶を行う。

個人戦

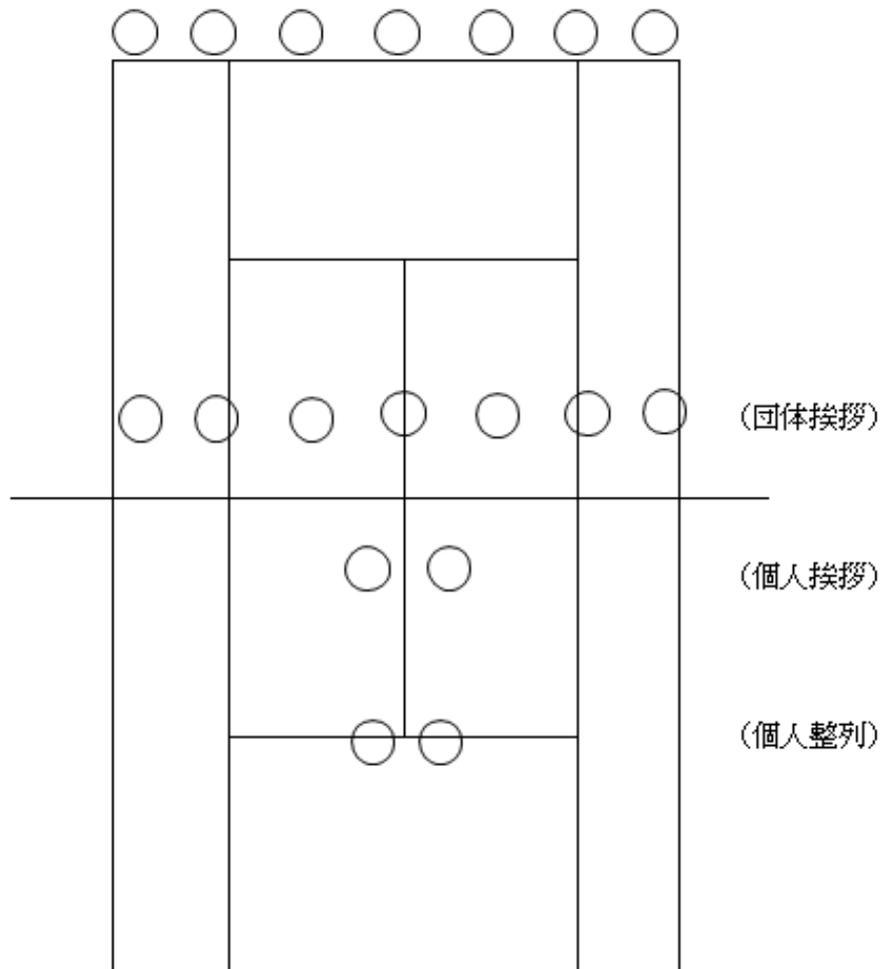
試合開始時

- ① サービスラインに整列する。
- ② 「集合」でネット付近まで移動し、ネット付近で挨拶を行う。

試合終了時

- ① サービスラインに整列する。
- ② 「集合」でネット付近まで移動し、ネット付近で挨拶を行う。

団体（ベースラインに整列）



テントゾーン

